

図書館 オープンコモンズ活用状況

図書館運営委員会

中村 哲、藤原 隆、岡田京子、若狭美乃里

オープンコモンズは、平成 28 年 3 月に「学生・教職員と住民のみんなが学び合い、地域の健康教育を目指す場」として設置され、セミナー、看護実習、学生の学修や各種委員会の会議など、様々な目的で活用されてきた。以下オープンコモンズの令和 4 年度での活用状況について報告する。

平成 28 年から令和 4 年までの過去 7 年間の活用状況の年次推移（図 1）を見ると、この間、利用回数は横ばいないし漸増し、本年度の利用人数も漸増の傾向を読み取ることができる。特に本年度の利用回数(172)は前年度(156)に比べると 10%ほど伸びている。また同じ利用人数(989)についても、昨年度の人数(854)と比べ約 16%の伸びであった。本年度の施設利用を月別に見ると（表 1）、利用回数の主なピークは 6 月および 11 月、2 月にみられた。各ピークの主な内訳は COVID-19 による外部実習が制限され、オープンコモンズを利用した学内実習の実施が集中したものと考えられた。6 月には呉市立高等学校との高大連携による授業が行われた。また、11 月～1 月にかけては期末試験と国家試験の時期に当たり、この時期に学生の自主学習の場としての利用が重なっていた。

令和元年末から拡大し、パンデミックとなった新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は本年度においても終息せず、感染者数が昨年度より増加した第 7・8 波の流行となった。しかし全国民の 2 回目までのワクチン接種のカバー率が 8 割近くとなり、本学での講義も対面方式で実施されることとなった。オープンコモンズの使用に際しても昨年同様に感染対策を徹底した。

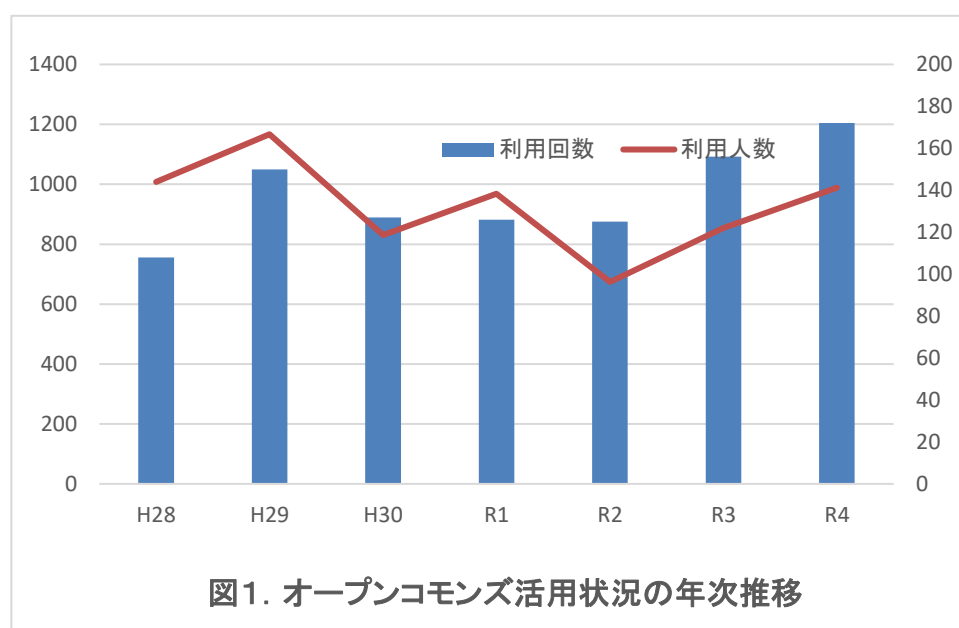


図1. オープンコモンズ活用状況の年次推移

表 1. オープンコモンズ活用状況(回数・人数・時間・デバイス)

月	利用回数	利用人数	利用時間	BIGPAD
4 月	9回	43人	28:05	2回
5 月	13回	64人	62:24	11回
6 月	27回	127人	86:55	16回
7 月	20回	80人	64:50	4回
8 月	7回	20人	17:00	5回
9 月	3回	29人	10:05	3回
10 月	18回	106人	57:45	6回
11 月	27回	178人	74:50	7回
12 月	18回	131人	58:50	6回
1 月	9回	80人	49:00	6回
2 月	16回	111人	56:50	1回
3 月	5回	20人	13:35	1回
計	172回	989人	580:09	68回

表 2. オープンコモンズ活用の内訳と人数

図書館としては来年度以降、新型コロナウイルス感染症が完全に収束し、社会に平穏が戻り、学生生活が穏やかに送れるようになること、そして早く、図書館が静謐な学修の場に戻れるようになることを強く望みたい。幸い、昨年度末（2022 年 3 月）には、図書館閲覧室の天井と壁、照明の取替えが行われ、見違えるように生まれ変わった。これを機に隣接するオープンコモンズの利用がより一層進むように、広報などを通して、努めたい。

	利用回数	人数
講義	7	33
セミナー	5	20
実習	124	788
国試対策	23	90
会議	9	28
地域貢献	2	25
その他	2	5
計	172	989

次頁に今年度のオープンコモンズの活用の例を写真で示した（図 2～図 4）。



図 2. 国試勉強の様子



図 3. 呉市立呉高等学校 看護学研究の様子



図 4. 小児看護学実習の様子